

# 人権・同和教育の全体計画

## 【学校教育目標】

夢や希望をもち、挑戦する、心豊かでたくましい国見の子どもの育成

- 明るく素直で心優しい子ども（やさしく）
- 自ら進んで学び、よく考え、自分の思いを表現できる子ども（かしこく）
- 体を鍛え、根気強くがんばる子ども（すこやかに）

## 【人権・同和教育の目標】

子ども一人一人が人権の大切さを理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、それを実践することができる。

### 【学習活動づくり】

基礎学力の定着を図るとともに、子ども一人一人の実態に合った個別指導の充実に努める。

### 【環境作り】

安心して過ごせる学校・教室づくり及び家庭や地域・関係機関との連携に努める。

### 【仲間づくり】

交流活動や参加体験的な学習を通して、互いの良さや可能性を認め合える仲間づくりに努める。

## 学 年 部 目 標

### 【低学年】

友だちと仲良くし、お互いを認め合おうとする態度を育てる。

### 【中学年】

様々な人々との交流活動を通して、自分たちの生活を振り返り、よりよい生活をしていこうとする態度を育てる。

### 【高学年】

ハンセン病問題学習や部落問題学習を通して、自分たちの生活を見つめ、差別を無くしていこうとする実践力を育てる。

## 各 教 科 等 に お け る 目 標

- 【国語】教材を通して、人間としての生き方についての考えを深めさせる。
- 【社会】人権問題をとらえ、正しく理解する力を育てる。
- 【算数】論理的思考や合理的な考え方を養う。
- 【理科】科学的に物事を考える態度、生き物や生命を愛する心情を育てる。
- 【生活】身近な人々とのかかわりに関心をもたせる。
- 【音楽】合奏や合唱を通して、豊かな感性を育てる。
- 【図画工作】表現活動や鑑賞活動を通して、豊かな感性を育てる。
- 【体育】心身の成長について理解し、健康で明るい生活を営む態度を育てる。
- 【家庭】よりよい家庭生活の在り方に気付き、実践する力を育てる。
- 【道徳】差別や偏見に気付かせ、人権尊重の精神を育てる。
- 【外国語活動】表現力やコミュニケーション能力を育成する。
- 【特別活動】自他を認め、共によりよい生活を送ろうとする態度を育てる。
- 【総合的な学習の時間】自ら問題を見つけ解決する活動を通して、自分の生き方について考えようとする態度を育てる。